

## 食育推進計画の最終評価一覧

評価の記号は以下のとおり

◎：目標値を達成

○：直近値が計画策定時の現状値と比較して向上

△：直近値が計画策定時の現状値と比較して進捗がみられない

### 【1】家庭における食育の推進

指標	策定時 (H24)	最終評価 (H29)	目標値 (H34)	達成 状況	
(1) 1日2回以上、主食・主菜・副菜を そろえて食べる人の割合の増加	①乳幼児	73.1%	66.0%	80%以上	△
	②小学生	66.1%	69.8%		○
	③中学生	62.7%	67.3%		○
	④高校生	62.1%	70.4%		○
	⑤18歳以上	50.7%	45.5%		△
(2) 朝食を毎日食べる人の割合の増加	①乳幼児	94.8%	94.7%	100%	△
	②小学生	89.7%	89.5%	100%	△
	③中学生	84.3%	83.0%	100%	△
	④高校生	91.0%	92.3%	100%	○
	⑤20歳代	63.8%	66.2%	70%以上	○
(3) 食事のあいさつがいつもできる子 どもの割合の増加	①乳幼児	71.0%	70.9%	100%	△
	②小学生	80.8%	80.0%		△
	③中学生	64.8%	68.6%		○
	④高校生	58.1%	69.4%		○
(4) 朝食を大人の家族と食べる機会が ほとんどない子どもの割合の減少	①乳幼児	12.1%	17.2%	10%以下	△
	②小学生	27.4%	30.2%	25%以下	△
	③中学生	57.1%	53.5%	50%以下	○
	④高校生	59.0%	49.9%	50%以下	◎
(5) 食事づくり(買物・調理・後片付け) にほとんど毎日参加する人の割合 の増加	①乳幼児	38.3%	34.2%	45%以上	△
	②小学生	41.4%	51.8%	45%以上	◎
	③中学生	36.7%	45.2%	40%以上	◎
	④高校生	36.4%	40.4%	40%以上	◎
	⑤18歳以上	57.0%	54.4%	65%以上	△

### 【2】保育所・学校園における食育の推進

指標	策定時 (H24)	最終評価 (H29)	目標値 (H34)	達成 状況
(1) 公立小中特別支援学校教職員の食に関する研修の 受講率の増加	17.1%	17.9%	50%以上	○
(2) 家族・地域と連携した取り組みを行った回数(の べ数)の増加	94回	146回	120回	◎

### 【3】地域における食育の推進

指標		策定時 (H24)	最終評価 (H29)	目標値 (H34)	達成 状況
(1) 食育の推進に関わるボランティア（食生活改善推進員）の数の増加		206人	153人	230人	△
(2) 食品の安全性についての知識を持っている人の割合の増加	18歳以上	78.3%	71.7%	90%以上	△
(3) 栄養成分表示を参考にしている人の割合の増加	18歳以上	48.5%	43.7%	60%以上	△
(4) 非常用食料などを備蓄している人の割合の増加	18歳以上	26.9%	37.2%	40%以上	○
(5) 郷土料理を知っていて、食べている人の割合の増加	①小学生	49.7%	56.1%	80%以上	○
	②中学生	63.3%	62.5%		△
	③高校生	63.0%	65.7%		○
	④18歳以上	68.0%	57.2%		△

### 【4】食の恵みを活かした食育の推進

指標		策定時 (H24)	最終評価 (H29)	目標値 (H34)	達成 状況
(1) 食に関する指導において体験活動（栽培活動など）を実施する学校園数の増加		91/96 校園	98/99校 園	99/99校 園※	○
(2) 地産地消という言葉と意味を知っている人の割合の増加	18歳以上	68.8%	71.3%	80%以上	○
(3) 市内産・県内産の食材を使うよう心がけている人の割合の増加	18歳以上	70.7%	69.0%	80%以上	△

※当初より保育園が3か所増設されたため、母数を変更

### 【5】食育推進のための環境づくり

指標		策定時 (H24)	最終評価 (H29)	目標値 (H34)	達成 状況
(1) 食育という言葉と意味を知っている人の割合の増加	①小学生	17.8%	25.6%	80%以上	○
	②中学生	9.6%	14.4%		○
	③高校生	9.5%	20.6%		○
	④18歳以上	41.5%	41.2%		△
(2) 食育に関心のある人の割合の増加	18歳以上	63.4%	59.9%	90%以上	△
(3) 食育の意義を理解し、食育活動を実践している人の割合の増加	18歳以上	59.6%	57.8%	65%以上	△